

第3回 鉄道敷地利用に向けての地元勉強会

1. 第2回勉強会の総括

第2回勉強会の主な内容

1. 駅前広場計画案の紹介

調布駅、布田駅、国領駅に南北一体の駅前広場ができます。
調布駅は平成17年度に整備方針案を公表しました。
布田駅、国領駅は地元の方とともに2案について検討中です。

2. 「鉄道敷地利用に関するアンケート調査」の結果報告

皆様にご回答いただいたアンケート結果から右に示す6つの課題がみえてきました。本勉強会以降、この課題をふまえ、地区の特性に応じた具体的な検討を進めていきます。

第1回勉強会で出された主な意見

1. 駅前広場計画案について

駅前広場にはこれまで行っていたようなイベントの出来るスペースを確保してほしい。
調布駅の東口はなくなってしまうのか。
現在の東口の近傍に新しい東口が出来る予定である。 など

2. 鉄道敷地上部利用と沿線の街づくりについて

遊歩道はお祭りの際に神輿などを通らせたいたい。
旧甲州街道を含めた回遊性を生み出すためには、人を引き込むイベントなどの仕掛けが必要であると思う。
鉄道敷地沿線の京王電鉄所有地や駅舎の計画はどの様になるのか。
現在のところは未定である。今回は鉄道敷地上部利用により、直接影響を受ける方を中心とした勉強会であるため、京王電鉄所有地等についてもご意見を頂き、今後の京王電鉄との協議の材料としていきたい。 など

アンケート結果からみる課題の整理

課題1. 道路整備による歩行者等の安全性の向上

課題2. 駐車・駐輪場の整備による駅周辺の利便性向上

課題3. 公園や広場の整備

課題4. 駅に出かける、憩い、健康づくりなど多様なニーズに応える遊歩道づくり

第3回勉強会活動内容（今回）

地域の街づくり課題の整理
配置する施設の検討
遊歩道の整備内容の検討
側道・交差道路整備の検討

課題5. 地区特性に応じた鉄道敷地と一体的な沿線街づくり

課題6. 住民参加による管理運営方策の検討

第4回勉強会活動内容（2月開催予定）

遊歩道整備後の管理運営活動の検討
沿線の街づくりイメージの検討